

桜島噴火

桜島は鹿児島島のシンボルであり、世界有数の活火山です。今年はすでに昨年の450回を超える爆発的噴火があり、活発な火山活動が続いています。大正3年の大噴火では多大な被害が発生しましたが、今後、そのような大噴火が起こる可能性もありますので、火山の特性をよく知り、日頃から火山災害に備えておくことが大切です。

噴火警戒レベルと防災対応 ※現在、桜島の噴火警戒レベルは3です

レベル	火山活動の状況	防災対応
5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある	危険な居住地域からの避難などが必要
4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)	警戒が必要な居住地域での避難の準備、避難行動要支援者の避難などが必要
3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす噴火が発生、あるいは発生すると予想される	登山禁止や入山規制など。住民は通常の生活。状況に応じて避難行動要支援者の避難準備など
2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生、あるいは発生すると予想される	火口周辺への立入規制など。住民は通常の生活
1 (活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出などが見られる	状況に応じて火口内への立入規制など

克灰への取り組み

◇家庭や地域で克灰を

- 各家庭の宅地内降灰は克灰袋に入れ、最寄りの宅地内降灰指定置場に出しましょう
- 克灰袋がないときは破れないよう、レジ袋を2枚重ねて出すこともできます
- 家庭や地域で克灰袋が必要なときには、**環境衛生課**か**各支所、各地域福祉館、各市民サービスステーション**に備えてあります

【サンサンコールかごしま 099-808-3333】



◇事業所降灰の収集がはじまりました！

- 道路上の降灰指定置場を利用するときは、必ず町内会長の了承を得てください
- 敷地内に降灰指定置場を設置することができます。詳しくは**産業支援課**まで
- 克灰袋は**産業支援課**か**各支所**で提供しています

【産業支援課 216-1322】

◇克灰に関する制度

内容	問い合わせ先
私道の降灰除去の申請(原則、幅員4m以上の通り抜け可能な道路)	道路維持課216-1410
町内会への補助(降灰除去機購入)	地域振興課216-1214
商店街への補助(降灰除去機購入、アーケードの降灰除去)	産業支援課216-1322

見逃すな！大噴火の前兆現象

過去の記録から、大噴火の前にはいくつもの前兆が見られます。下記のような現象に気付いたら、**危機管理課216-1213**または**消防局代表222-0119**へご連絡ください



①地震が一日に何度も発生する



②地鳴りがする



③井戸水、温泉の水位や温度がいつもと違う

桜島火山噴火に関する情報は…

降灰予報の発表状況(気象庁)

降灰量分布や小さな噴石の落下範囲を予測する量的降灰予報を確認できます

<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/kouhai/jishin/ashfall.html>

桜島降灰速報(南日本新聞社)

桜島の噴火後約5～10分で、降灰に関する参考情報をメールで受信できます

http://373news.com/_sakurajima/sakurajima_mail/

桜島噴火情報(NHK鹿児島放送局)

パソコンや携帯、地上デジタル放送(データ放送)で桜島の噴火情報を確認できます

<http://www.nhk.or.jp/kagoshima/>

原子力災害

原子力災害が発生したときは、外出中の人は自宅などへ帰るか、最寄りの公共施設などへ「屋内退避」しましょう。(屋内退避…自宅などの建物の中に入り、放射線からの防護を図ること)

まずは正しい情報を集める

屋内退避の指示が出たら

- テレビやラジオ、防災行政無線、緊急速報メール、広報車両などから、正確な情報を入手しましょう

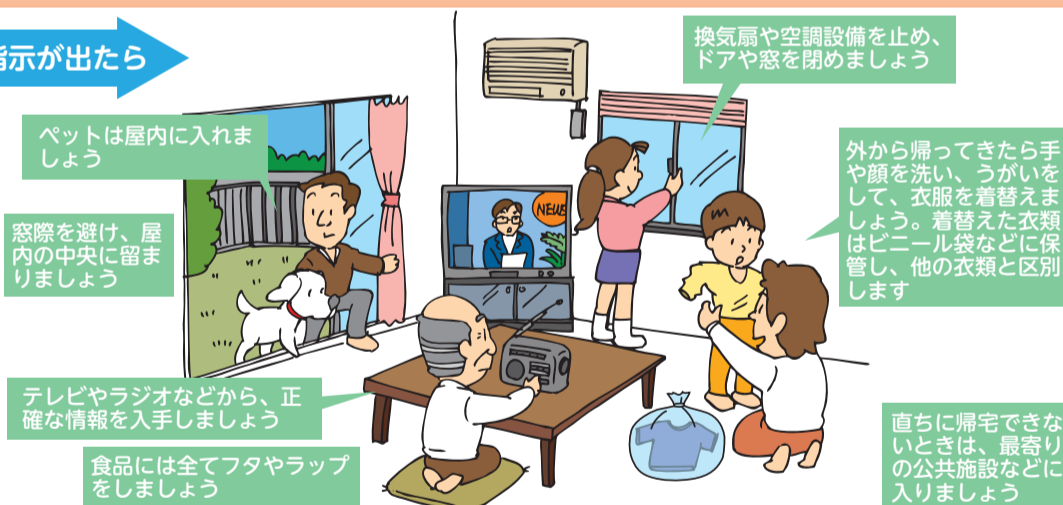


避難訓練



スクリーニング訓練

原子力防災訓練の様子



「セーフコミュニティ」を掲げて、市民の皆さんにとって一番大切なことは、安心して安全に暮らせるまちに住むことだと思っています。本市では、平成17年に「安心安全まちづくり条例」を制定し、犯罪・事故・自然災害の未然防止に向けて、住民と行政が協働することにより、安心安全な地域社会の実現を図っています。

また、本市は活火山・桜島と共生するとともに、台風も接近する地域です。私は、毎年、梅雨時期や台風シーズン前に、火山災害に備えた砂防工事現場や急傾斜地などの災害危険箇所点検を行うなど、防災対策に万全を期しているところです。

このような中、本市では、WHO(世界保健機関)が推進する、世界基準の安心安全都市となる「セーフコミュニティ」の今年度の認証取得を目指しています。詳しくは、今月号の特集で、交通安全や防災・災害対策など7つの分野への重点的な取り組みについて紹介していますのでご覧ください。

私は、市民の皆さんの安心安全を最優先に、鹿児島ならではの地域の実情に応じた対策をさらに進めてまいります。市民の皆さん、一緒に進んでまいります。

■ホタル観賞

恵みの雨を受け、木々の緑も次第に濃くなってきました。清水の流れる水辺では、初夏の風物詩として昔から親しまれているホタルが美しい光を放ちながら飛び交っています。

子どもも、小川でホタルを追いかけ、野山を駆け回るなど、自然を相手にいっっぱい遊んだ方も多いのではないでしょうか。随分まちの風景は変わりましたが、市内各地にはまだまだ豊かな自然がたくさん残っています。

本市では、市民の皆さんに自然の素晴らしさを感じていただき、環境保全に対する意識を高めることを目的に、今年2月、「かごしま自然百選」を選定しました。その百選には、桜島や錦江湾などの景観スポットはもとより、かごしま健康の森自然観察園や谷山地域の谷合水源(たにあひ)地など、ホタルの生息地となっているところも含まれています。これらの豊かな自然を将来の世代にしっかりと引き継いでいくことが大切であると思います。

ホタルの観賞は今月上旬まで楽しめるようです。身近な自然の中で、ひととき、淡い光の織りなす幻想的な世界を味わってみませんか。

「セーフコミュニティ」を掲げて、市民の皆さんにとって一番大切なことは、安心して安全に暮らせるまちに住むことだと思っています。本市では、平成17年に「安心安全まちづくり条例」を制定し、犯罪・事故・自然災害の未然防止に向けて、住民と行政が協働することにより、安心安全な地域社会の実現を図っています。

また、本市は活火山・桜島と共生するとともに、台風も接近する地域です。私は、毎年、梅雨時期や台風シーズン前に、火山災害に備えた砂防工事現場や急傾斜地などの災害危険箇所点検を行うなど、防災対策に万全を期しているところです。

このような中、本市では、WHO(世界保健機関)が推進する、世界基準の安心安全都市となる「セーフコミュニティ」の今年度の認証取得を目指しています。詳しくは、今月号の特集で、交通安全や防災・災害対策など7つの分野への重点的な取り組みについて紹介していますのでご覧ください。

私は、市民の皆さんの安心安全を最優先に、鹿児島ならではの地域の実情に応じた対策をさらに進めてまいります。市民の皆さん、一緒に進んでまいります。

市民とともに

鹿児島市長
森博幸

